

## NPO法人あいな里山茅葺同人の活動

星島 明 (理事長)・赤尾整志・香川 豊・天野雅夫 (NPO法人あいな里山茅葺同人)

### ■はじめに

かつて里山の民家は茅葺で造られていました。そして、近隣の里山地域には雑木林や茅場が、生活を支える場として人間の手によって管理され、これによって自然植生への遷移を防いでいました。特に、茅葺屋根は地域の協働作業「結い」および里山エコロジーのシンボリックな存在でしたが、社会経済情勢の構造的変化により喪失しています。私たちは、国営明石海峡公園神戸地区で開かれた茅葺講座を通して、里山の暮らしが自然環境保全にとって重要な働きかけをしてきたということを知りました。そこで、受講生の有志が知識・経験を生かし、エコロジー型の里山景観保全を通して社会に貢献するため「あいな里山茅葺き同人」を2008年に設立しました。

### ■目的

「あいな里山茅葺き同人」では、里山景観の再生や、発生した資源の再利用・有効活用に関する講演会・セミナー・環境イベントの開催などの事業を行い、人と地球にやさしいエコロジー循環型の生活、地球温暖化の抑制、並びに自然環境の改善に寄与することを目的としています。



甲南女子大学学習林内に建つツリーハウス



同大学の住宅地隣接部での伐採状況



茅葺講座受講生たち (2004年3月)



国営明石海峡公園神戸地区内の放棄地

### ■活動

現在の主な活動は、甲南女子大学学習林で整備・保全など「ふれあいの森づくり」をしています。将来この学習林が自然教育や環境教育のために、近隣の幼稚園や小学校の子供たちが利用できる場所となり、また住民が気軽に自然と親しみながら、自然環境の保全について考える場となることを視野に入れて取り組んでいます。さらに、国営明石海峡公園神戸地区内の放棄田をススキの原に再生すべく活動しているグループ「あいな茅葺くらぶ」の運営にも参加しています。ここでは、生育するススキが茅葺や各種イベントに利活用できるように草やネササを刈って保存しています。